

electro-harmonix

H.O.G.2

Harmonic Octave Generator-Guitar Synthesizer

H.O.G.2 をご購入いただきありがとうございます。本機は同時に複数のオクターブ音とハーモニー音を生成する、オクターブ&ハーモニック・ジェネレーター：ギター・シンセサイザーです。単音でもアルペジオでも和音でも、プレイする全ての音に追従します。さらに、7つのエクスペッション・モードを搭載しています。付属のエクスペッション・ペダルや別売りのMIDIコントローラー、本体のEXPフット・スイッチでサウンドをリアルタイムにコントロールできます。

注意：必ず、付属の9.6VDC/200mA ACアダプターをお使いください。他のACアダプターの使用は故障、事故の原因となり、危険です。また誤ったACアダプターの使用による故障、事故については保証対象外となります。予めご了承ください。

コントロールと接続端子

MASTER VOL スライダー

出力の音量を調整します。スライダーを上にするとう音量が上がります。

DRY OUTPUT スライダー

ドライ音（原音）の音量を調整します。スライダーを上にするとう音量が上がります。このDRY OUTPUTはEXP.MODE、ENVELOPE、FILTERをバイパスします。

INPUT 端子

楽器を繋ぐ入力端子です。入力インピーダンスは1.3MΩです。

DIRECT OUTPUT 端子

入力信号がバッファ回路を通った状態で出力されます。この出力に他の機材を接続しても、INPUT端子に接続した楽器には余計な負荷がかかりません。出力インピーダンスは150Ωです。

OUTPUT 端子

メインの出力端子です。アンプやミキサーに繋がります。出力インピーダンスは60Ωです。

STATUS LED

エフェクト・オンで点灯します。オフで消灯です。

BYPASS フット・スイッチ

オン/オフ・スイッチ。オフ（バイパス）の時はバッファ回路を通ります。

ボイス・コントロール

白いスライダー 10 個で音色（ボイス）を作ります。それぞれに決まった役割があり、スライダーで音量を調整します。

-2 OCTAVE スライダー

2オクターブ下の音色の音量を調整します。スライダーを上げると音量が上がります。

-1 OCTAVE スライダー

1オクターブ下の音色の音量を調整します。スライダーを上げると音量が上がります。

ORIGINAL スライダー

原音（ドライ音）の音色の音量を調整します。この音は EXP. MODE、ENVELOPE、FILTER を通ります。スライダーを上げると音量が上がります。

+5TH スライダー

5度上の音色の音量を調整します。例えば、Aの音を弾けばEの音です。スライダーを上げると音量が上がります。

+1 OCTAVE スライダー

1オクターブ上の音色の音量を調整します。スライダーを上げると音量が上がります。

+1 OCTAVE +5TH スライダー

1オクターブ上+5度の音色の音量を調整します。スライダーを上げると音量が上がります。

+2 OCTAVES スライダー

2オクターブ上の音色の音量を調整します。スライダーを上げると音量が上がります。

+2 OCTAVES +3RD スライダー

2オクターブ上+3度の音色の音量を調整します。スライダーを上げると音量が上がります。

+3 OCTAVES スライダー

3オクターブ上の音色の音量を調整します。スライダーを上げると音量が上がります。

+4 OCTAVES スライダー

4オクターブ上の音色の音量を調整します。スライダーを上げると音量が上がります。

SPECTRAL GATE ボタン & LED

SPECTRAL GATE ボタンを押すとスペクトラルゲート機能がオンになり LED が点灯します。エフェクト音が不安定な時にオンにすると安定します。サウンドをシンプルにして余計な音を減らすことができます。

エンベロープとフィルター・コントロール

ENVELOPE LOWER / UPPER スライダー

音色のアタックとディケイを調整します。

LOWER スライダーは下の 5 ボイス (-2 OCTAVES ~ +1 OCTAVE) を、UPPER スライダーは上の 5 ボイス (+1 OCTAVE+5th ~ +4 OCTAVES) を調整します。

スライダーの上半分ではディケイ（音の減衰時間）、下半分ではアタック（音の立ち上がり時間）を設定し、真ん中の位置だとアタックもディケイも変わりません。

スライダーを上げるにつれ、音の減衰時間が短くなるので音が短く切れる様になります。反対にスライダーを下げるにつれ、音の立ち上がり時間が長くなるので徐々に音が大きくなるようになります。

ENVELOPE ON LED

エンベロープがオンで点灯します。

ENVELOPE フット・スイッチ

エンベロープをオン/オフします。

FILTER FREQUENCY スライダー

ローパスフィルターのカットオフ・ポイントを調整します。スライダーを上げるとカットする周波数が上がります。

FILTER RESONANCE スライダー

FREQUENCY スライダーで設定したカットオフ・ポイントを強調します。スライダーを上げるとその近辺の周波数を強調します。

生成したボイスは全て、これらのフィルターを通ります。フィルターを使用したくない場合には、FREQUENCY を一番上に、RESONANCE を一番下にします。

エクスプレッションの設定

EXP. MODE ボタン & LED

本機にある7種のエクスプレッション・モードをスイッチで選ぶと、選んだモードのLEDが点灯します。

EXP. REVERSE ボタン & LED

押すと選んだエクスプレッション・モードのサウンドの変化をリバーズ（反転）させ、LEDが点灯します。リバーズ時にはエクスプレッション・ペダルの動作が反対になります。例えば、EXP. MODE が OCTAVE BEND の時、リバーズすると、エクスプレッション・ペダルを踏むことでピッチが下がっていきます。

EXP. フット・スイッチ

エクスプレッション・ペダルを繋がなくても、このスイッチを踏んでいる間は、エクスプレッション・ペダルを踏み込んだ状態と同じになります。

7つのエクスプレッション・モード

① OCTAVE BEND

生成したボイスのピッチを1オクターブ上げられます。シンセサイザーのピッチバンドやワーム・ペダルのような効果です。

② STEP BEND

生成したボイスのピッチを1音上げられます。Aの音ならBまで上げられます。このモードではデチューンのような効果も作れます。

③ VOLUME

生成したボイスの音量を変えます。音量は0～100%です。

④ FREEZE + GLISS

他のモードとは異なるユニークなモードです。エクスプレッション・ペダルの力カトが下がっている時は通常どおりです。ペダルを踏み込むとその

時に演奏していたエフェクト音を鳴ったままにフリーズして、更にその音にドライ音をかぶせて演奏できます。エクスプレッション・ペダルを途中でとめた状態では、先に演奏したエフェクト音から新しいエフェクト音までスライドします。

グリッサンドのスピードはエクスプレッション・ペダルの位置によって変わります。踏み込んだ状態に近づくにつれスピードは遅くなります。

例えば、Aの音を弾いて、続けてエクスプレッション・ペダルを50%まで踏むとA音をフリーズします。続けてE音を弾くとAからEにスライドします。この機能はシンセサイザーのポルタメントのような感じですが、このモードは非常に個性的でトリッキーなため、感覚をマスターするために時間を要するかもしれません。でもマスターすれば、全く新しい境地が広がります。

使用上の注意：ペダルの力カトを完全に下げた状態にするとフリーズした音は消去されます。

⑤ FREEZE + VOLUME

Freeze + Gliss と同様のフリーズ効果を得られますが、グリッサ効果はありません。ペダルでフリーズした音の音量をコントロールします。

使用上の注意：ペダルの力カトを完全に下げた状態にするとフリーズした音は消去されます。

⑥ WAH WAH

エクスプレッション・ペダルがワウの働きをします。このモードではFREQUENCYとRESONANCEは効かなくなります。生成したボイスはワウ・フィルターを通りペダルの位置でサウンドが変化します。

⑦ FILTER

FREQUENCY スライダーをコントロールします。ペダルの力カトが下がった状態はスライダーが0と同じです。踏み込んだ状態はFREQUENCY スライダーで設定した状態になります。エクスプレッション・ペダルの可変範囲を広くしたい場合は、FREQUENCY スライダーを一番上にしておきます。このモードではRESONANCE スライダーの設定も重要です。

外部コントロール入力

EXP. PEDAL 端子

付属のエクスペッション・ペダルを繋ぎます。その他の以下のモデルも使用できます。

・ electro-hamoniX Expression ・ Roland EV-5 ・ Moog EP-2 ・ BOSS FV-500L。

MIDI IN 端子

MIDI コントローラーを繋げば、H.O.G.2 のパネルにある全てのコントロールを制御できます。プリセットの呼び出しや保存もできます。詳しくは MIDI の項をご覧ください。

FOOTSWITCH 端子

別売りの専用フット・コントローラー (H.O.G.2 Foot Controller) を繋げば、100 個のプリセットを呼び出せます。端子は 1/4" フォーンです。

PRESET LED

プリセットを選ぶと点灯します。プリセットが選ばれている時に、スライダーを動かしたり、モードを変えると、この LED がチカチカと点滅します。

ご注意：BYPASS フット・スイッチを踏んでも、PRESET LED は点滅しません。繋いでいるエクスペッション・ペダルを動かしても同様です。

プリセットと H.O.G.2 Foot Controller

本機の FOOT CONTROLLER 端子に、別売りの専用フット・コントローラー (H.O.G.2 Foot Controller) を繋ぐと、100 個のプリセットの呼び出しと保存ができます。端子は 1/4" フォーンです。プリセットには、エクスペッション・ペダルの位置、EXP ボタン、MIDI 設定を始め、すべてのスライダー位置、ボタン設定とフットスイッチの設定を保存できます。

プリセットが 1 つなら、H.O.G.2 本体だけで保存／呼び出しができます。フットコントローラーや MIDI で最後に選んだプリセット番号に上書きします。本機は、MIDI CC とプログラム・チェンジ・メッセージによって、すべてのプリセットを保存／呼び出しができます。MIDI についてより詳しくは、後述の説明を参照してください。

プリセットの保存

プリセットに現在の設定を記憶できます。プリセットを保存する方法は 3 つです。

1. H.O.G.2 Foot Controller で保存

別売りの H.O.G.2 Foot Controller を本機に繋ぎます。H.O.G.2 Foot Controller の SELECT ツマミを回して保存したいプリセット番号にします。その SELECT ツマミを押したままにします。数秒待つとディスプレイが一旦消えて再び点きます。その後ツマミから手を離せば保存完了です。

2. H.O.G.2 本体に保存

EXP MODE ボタンを 2 秒間押したままにすると、周りの LED が素早く点滅します。点滅が終わったらプリセット完了なので、ボタンを放します。工場出荷時のデフォルトではプリセット 0 に保存します。

3. MIDI で保存

MIDI CC の 117 番を使用してメッセージを送信することで、H.O.G.2 の現在の設定を保存できます。MIDI コントローラーは H.O.G.2 の現在の MIDI チャンネルに設定します。または、H.O.G.2 を OMNI ON に設定する必要があります。MIDI CC 117 番で送信されるデータ値が、プリセットが保存される場所になります。H.O.G.2 は、この場所にあった古いプリセットを上書き保存します。たとえば、プリセット番号 3 に設定を保存したい場合は、MIDI CC 117 番でデータ 3 を送信します。H.O.G.2 は、MIDI 経由で (0 ~ 119 の値を使用して) 最大 120 個のプリセットを保存することができます。120 以上の値は、無視されます。

プリセットの呼び出し

H.O.G.2 でプリセットを呼び出す方法は 3 つあります。

1. H.O.G.2 Foot Controller で呼び出す

H.O.G.2 Foot Controller の UP / DOWN フットスイッチを使います。これらのフットスイッチで、UP フットスイッチを踏むたびにプリセット番号は上がっていき、DOWN フットスイッチを踏むたびに下がっていきます。H.O.G.2 Foot Controller のフットスイッチを踏んだままにすると、10 個単

位で上下します。

他にも SELECT ノブを使えます。まず、呼び出すプリセット番号に SELECT ノブを回して合わせます。次に、SELECT ノブを押して放します。プリセットを呼び出した時に、H.O.G.2 本体の PRESET LED が点灯します。H.O.G.2 Foot Controller のディスプレイの右端の小数点は、プリセットが呼び出されると点灯します。

2. H.O.G.2 で呼び出す

PRESET LED が点灯するまで、SPECTRAL GATE ボタンを押し続けます。H.O.G.2 Foot Controller、または MIDI で最後に選んだプリセットを呼び出します。工場出荷時のデフォルトプリセット番号は 0 です。

3. MIDI で呼び出す

3-1 : Program Change メッセージを使用する

MIDI コントローラーが H.O.G.2 の MIDI チャンネルに設定されているか、本機が OMNI ON に設定されていれば、保存されたプリセットを呼び出すための MIDI プログラム・チェンジ・メッセージを受信します。プリセット 10 を呼び出したい場合は、H.O.G.2 にプログラム・チェンジ・メッセージ 10 を送信します。

3-2 : CC メッセージを使用する

本機は、MIDI CC 118 番を受信することでも、プリセットを呼び出せます。MIDI CC の 118 番で送信されるデータ値により、プリセット番号を表示します。プリセット 51 を呼び出したい場合は、データ値 51 を MIDI CC 118 番で送信します。H.O.G.2 は MIDI (値 0 ~ 119 を使用) を経由して 120 までのプリセットをロードすることができます。120 以上の値を送信すると、現在選択されているプリセットをアンロードします。

プリセットを呼び出すと、本機の PRESET LED が点灯します。

使用上の注意：ペダルを接続していない状態で、エクスプレッション・ペダルの値が 0 以外の状態で保存さ

れたプリセットを呼び出すと、保存時のペダル状態が再現されます。この場合、プリセット呼び出すと、対応する EXP. MODE の LED が素早く点滅します。これは、あらかじめ呼び出したエクスプレッション設定があるということです。エクスプレッション設定をリセットしたい場合は、EXP. フットスイッチか、EXP. MODE ボタンを押してください。これで LED の点滅が止まります。

プリセットの呼び出し中に、エクスプレッション・ペダルが H.O.G.2 に接続されている場合は、プリセットのエクスプレッション設定はロードされません。

プリセットをアンロードする

呼び出したプリセットから抜けることもできます。現在の各スライダーの位置や、各ボタン、スイッチの設定が、まとめて有効になります。H.O.G.2 Foot Controller でプリセットを呼び出した後で、H.O.G.2 本体でアンロードすることもできます。

1. H.O.G.2 Foot Controller で行う

H.O.G.2 Foot Controller でプリセットをアンロードするには、H.O.G.2 Foot Controller の SELECT ノブを押して離すだけです。H.O.G.2 の PRESET LED と、H.O.G.2 Foot Controller のディスプレイの小数点が消えます。

2. H.O.G.2 本体で行う

SPECTRAL GATE ボタンを 2 秒間、押したままにします。2 秒後、H.O.G.2 の PRESET LED が消灯したらボタンを離します。

3. MIDI で行う

MIDI プログラムチェンジ 126 または、MIDI CC 118 番でプリセットをアンロードできます。

プログラムチェンジでアンロードするには、プログラムチェンジ 126 を H.O.G.2 へ送信します。

MIDI CC でアンロードするには、CC 118 番で 120 以上の値を送信します。

プリセットのエディット

プリセットを呼び出した後、プリセットをエディットして、別のプリセット番号に保存することができます。これは、MIDI でもできますが、H.O.G.2 Foot Controller

で行う方が簡単です。H.O.G.2 Foot Controller でエディットしたいプリセットを呼び出します。エディットした後、H.O.G.2 Foot Controller の SELECT ノブ回して、保存したい番号にします。SELECT ノブを数秒間押したままにし、一旦番号が消え、再び表示したら離します。MIDI で保存するには、MIDI CC 117 番で保存したいプリセット番号のデータ値を送信します。

MIDI 機能

キーボードや PC 等の MIDI 機器の MIDI OUT を本機の MIDI IN 端子に繋がます。

MIDI CC メッセージ

MIDI コントロール・チェンジ (CC) メッセージで、H.O.G.2 をコントロールできます。以下に CC メッセージのリストがあります。



MIDI CC	H.O.G.2 コントロール	説明	可変幅
4	エクスプレッション・ペダル ・コース	EXP. MODE で選んだモードのパラメータを設定。 より細かく設定するには CC 36 番も設定します。	0 ~ 127
7	MASTER VOL スライダー	音量を設定します。	0 ~ 127
36	エクスプレッション・ペダル ・ファイン	EXP. MODE で選んだモードのパラメータを細かく 設定。	0 ~ 127
64	FREEZE + GLISS	以下の EXP. MODE でも FREEZE+GLISS が可能： OCTAVE BEND ・ STEP BEND 以下では動作しません： FREEZE + VOL ・ VOLUME ・ WAH WAH ・ FILTER	0 = No Freeze 127 = Freeze Hold Gliss occurs with intermediate values.
85	BYPASS フット・スイッチ	エフェクトのオン/バイパスを設定。	0 ~ 63 = BYPASS 64 ~ 127 = EFFECT
86	EXP. フット・スイッチ	EXP. フットスイッチを踏んだ状態を設定。	0 ~ 63 = OFF 64 ~ 127 = ON
87	ENVELOPE フット・スイッチ	ENVELOPE のオン/オフを設定。	0 ~ 63 = OFF 64 ~ 127 = ON
88	SPECTRAL GATE ボタン	SPECTRAL GATE のオン/オフを設定。	0 ~ 63 = OFF 64 ~ 127 = ON
89	EXP. MODE ボタン	EXP. MODE を設定。MIDI データを受信すると、 直接そのモードになります。	0 ~ 9 = OCTAVE BEND 10 ~ 19 = STEP BEND 20 ~ 29 = VOLUME 30 ~ 39 = FREEZE + GLISS 40 ~ 49 = FREEZE + VOL 50 ~ 59 = WAH WAH 60 ~ 127 = FILTER
90	EXP. REVERSE ボタン	EXP. REVERSE のオン/オフを設定。	0 ~ 63 = OFF 64 ~ 127 = ON
102	DRY OUTPUT スライダー	ドライ音の音量を設定。	0 ~ 127
103	-2 OCTAVES スライダー	2オクターブ下サウンドの音量を設定。	0 ~ 127
104	-1 OCTAVE スライダー	1オクターブ下サウンドの音量を設定。	0 ~ 127
105	ORIGINAL スライダー	同音程サウンドの音量を設定。	0 ~ 127
106	+5TH スライダー	5度上サウンドの音量を設定。	0 ~ 127
107	+1 OCTAVE スライダー	1オクターブ上サウンドの音量を設定。	0 ~ 127
108	+1 OCTAVE + 5TH スライダー	1オクターブ上 + 5度上サウンドの音量を設定。	0 ~ 127
109	+2 OCTAVES スライダー	2オクターブ上サウンドの音量を設定。	0 ~ 127
110	+2 OCTAVES + 3RD スライダー	2オクターブ上 + 3度上サウンドの音量を設定。	0 ~ 127
111	+3 OCTAVES スライダー	3オクターブ上サウンドの音量を設定。	0 ~ 127
112	+4 OCTAVES スライダー	4オクターブ上サウンドの音量を設定。	0 ~ 127
113	ENVELOPE /LOWER スライダー	下5つのボイスのディケイ/アタックを設定。	0 ~ 127
114	ENVELOPE /UPPER スライダー	上5つのボイスのディケイ/アタックを設定。	0 ~ 127
115	FILTER / FREQUENCY スライダー	ローパスフィルターのカットオフポイントを設定。	0 ~ 127
116	FILTER / RESONANCE スライダー	カットオフポイントのレゾナンスを設定。	0 ~ 127

追加機能			
MIDI CC	H.O.G.2 コントロール	説明	可変幅
117	Save Preset	CC メッセージの値で指定されたプリセット番号に現在の H.O.G.2 設定を保存します。データ値が 119 を超えている場合、CC メッセージは無視されます。	0 ~ 119 = Save to this preset number 120 ~ 127 = CC is ignored
118	Load Preset	この CC メッセージのデータ値で指定されたプリセットを呼び出します。119 以上のデータ値を送信した場合、プリセットをアンロードします。	0 ~ 119 = Load this preset number 120 ~ 127 = Load WYSIWYG mode
124	OMNI OFF	工場出荷時のデフォルト値。OMNI OFF の場合、現在アサインされているチャンネルに入力されたコマンドを受け付けません。オムニ設定は電源を切っても保存されています。オムニモードを変更するには、現在のチャンネル設定でコマンドが送信される必要があります。	Change from 0 to 1 to enable OMNI OFF
125	OMNI ON	OMNI ON の場合、全ての MIDI チャンネルからのコマンドを受け付けます。オムニ設定は電源を切っても保存されています。オムニモードを変更するには、たとえ OMNI ON の状態であっても現在のチャンネル設定でコマンドが送信される必要があります。	Change from 0 to 1 to enable OMNI ON.



MIDI プログラム・チェンジ・メッセージ

本機に保存したプリセットは、MIDI プログラム・チェンジ・メッセージで、外部 MIDI 機器から呼び出せます。MIDI プログラム・チェンジ・メッセージは、本機に設定されている同じチャンネルで送信するか、本機を OMNI ON モードに設定する必要があります。プログラム・チェンジ・メッセージの数字は、読み込むプリセット番号に対応します。例えば、プリセット 6 を読み込むためには、プログラム・チェンジ 6 番を送信します。

MIDI プログラム・チェンジ・ナンバー	機能
0～119	プログラム・チェンジ・ナンバーに関連したプリセットを読み込みます。例：プログラム・チェンジ 3 で、プリセットの 3 を読み込み。
120	BYPASS/EFFECT 切替
121	EXP. フット・スイッチの切替、踏んだ状態 / 離れた状態
122	ENVELOPE オン / オフ切替
123	SPECTRAL GATE オン / オフ切替
124	EXP. MODE ボタンを選択：7つのモードを順に切替
125	EXP. REVERSE オン / オフ切替
126	現在のプリセットを再読み込み / アンロード
127	バイパス / リセット機能：H.O.G.2 をリセット状態にします： バイパス、EXP. フットスイッチを離れた状態、ENVELOPE はオフ、SPECTRAL GATE はオフ、EXP. MODE は OCTAVE BEND に設定、プリセットはアンロードして WYSIWYG モードに。このリセットとは初期化ではありません。プリセットを書き換えるものではありません。

MIDI ピッチベンド・メッセージ

MIDI ピッチベンドを使用して、エクスプレッション・モードをコントロールすることができます。H.O.G.2 が OCTAVE BEND に設定されている場合、キーボードと同じようにベンドした音を H.O.G.2 で出せます。

MIDI チャンネル

H.O.G.2 では、16 ある MIDI チャンネルのどれにでも

設定でき、OMNI ON を有効にすると、全ての MIDI チャンネルからのメッセージを受けられます。工場出荷時の状態は、チャンネル 1 / OMNI OFF です。

現在の MIDI Channel を表示する

MIDI チャンネルは、スタートアップ時の特殊な操作で表示させることができます。

1. 電源を切ります。
2. EXP. フット・スイッチを踏みながら電源を入れます。
3. 電源を入れると、約 3 秒間 VOLUME LED が点灯します。VOLUME LED が消えた後、H.O.G.2 は、現在の MIDI チャンネル設定を表示します。MIDI チャンネルは、2 進数で表示されます。H.O.G.2 の MIDI チャンネル設定を行う場合は、下の表をご覧ください。
使用上の注意：H.O.G.2 がチャンネル 1 に設定されている場合、EXP. MODE の LED には何も表示されません。
4. EXP. フット・スイッチを離すと MIDI チャンネルの表示から抜けることができ、通常通り H.O.G.2 を使用することができるようになります。

MIDI CHANNEL	FREEZE + GLISS LED	FREEZE + VOL LED	WAH WAH LED	FILTER LED
1(default)	off	off	off	off
2	off	off	off	ON
3	off	off	ON	off
4	off	off	ON	ON
5	off	ON	off	off
6	off	ON	off	ON
7	off	ON	ON	off
8	off	ON	ON	ON
9	ON	off	off	off
10	ON	off	off	ON
11	ON	off	ON	off
12	ON	off	ON	ON
13	ON	ON	off	off
14	ON	ON	off	ON
15	ON	ON	ON	off
16	ON	ON	ON	ON

MIDI チャンネルを変更する

MIDI チャンネルの変更は、「MIDI チャンネルを表示する」の手順同様、スタートアップ時の特殊な操作で行うことができます。

1. 上記「MIDI チャンネルを表示する」1～3の手順を行います。
2. EXP. フット・スイッチを押し続けている間に、EXP. MODE ボタンを押して 16 の MIDI のチャンネルを切り替えます。上の表を参照し、MIDI チャンネル設定に必要な LED パターンを決定します。
3. EXP. フット・スイッチを離して、新しい MIDI チャンネル設定が保存されると、通常通り H.O.G.2 を使用できるようになります。MIDI チャンネル設定は電源を切っても保存されています。

初期化

次の手順で、本機を工場出荷時の状態にできます。MIDI チャンネルはデフォルト設定（チャンネル 1）になり、全てのプリセットはオリジナルの工場出荷時の設定に戻ります。

1. 電源を切ります。
2. BYPASS と、EXP. フットスイッチを押したまま電源を入れます。
3. 全ての LED が点滅し始めるまで、フットスイッチを押し続けます。
4. フットスイッチを離します。これで、本機は、工場出荷時の状態に戻りました。

MEMO





正規輸入代理店

株式会社 キョーリツコーポレーション

カスタマーサポート

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-9-11

NEWS日本橋堀留町ビル 10F

TEL : 03-5614-4133 FAX : 03-5614-2166

E-MAIL : support@kcmusic.jp